とだ 議会だより

やさしいまちに、なりたい。

9月定例会

No.198
2017年（平成29年）11月1日

平成28年度決算を認定 ▶2
財政健全化判断比率は全て健全！

「防犯カメラ」町会・自治会に補助金新設 ▶4

そこがききたい 19人の議員が一般質問 ▶8

シルバースポーツ大会（スポーツセンター）

▶ホームページ 戸田市議会 検索 ▶▶ http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/

平成29年
9月定例会
8月25日～9月27日

9月定例会は8月25日から9月27日までの34日間の会期で開かれ、提出された31件の議案等を、いずれも認定・可決しました。また、4議案に対し延べ16人の議員が質疑し、決算認定1件に対し2人の議員が、オーストラリア・リバプール市への議員の派遣については、4人が討論を行いました。

4日間にわたる一般質問では、19人の議員が活発な論戦を展開しました。最終日には議員提出議案として3件の意見書が提出され、いずれも可決しました。

主な議案等

28年度一般会計決算

歳入では前年度と比較して、国庫支出金が約10億3千万円の増、繰越金が約4億2千万円の増。市債が約9億5千万円の減、繰入金が約9億4千万円の減。市税は全体で約500万円の減。

歳出のうち、大きな割合を占めるものは、民生費が約47・2％、総務費が約10・5％、教育費が約10・3％、土木費が約10・2％。

《結果》認定（賛成21 対 反対4）

討論 28年度一般会計決算

伊東　秀浩 議員

戸田東小中建て替え、説明責任果たしている

公共施設等総合管理計画は、公共施設等の老朽化が進み、今後、より厳しい財政運営となることが見込まれる中、必要不可欠な計画。

受益者負担の見直し方針は、公共施設を利用する人・しない人の公平性の確保、経営的視点を取り入れた行政サービスの継続という観点から重要な方針。

移動支援事業は、障害者相談支援員等との連携を図ることで、利用者に適したサービスの提供を計画し、本事業と他の事業を組み合わせることにより、効果的なサービスの利用や支援が行われている。

自転車駐車場は、自転車の出し入れが容易になり、24時間利用が可能、駐車場内での自転車盗難も減少したことなど、サービスの向上が図られている。

戸田東小中学校は、総合的に判断し建て替えを決定したものであり、建て替えに関する説明会は11回開催し、「建て替えに関するQ＆A」を戸田東小中学校及び喜沢小学校の全保護者に配布しており、市民等へ一定の説明責任は果たしている。

保育園保育料は、利用者の所得状況に応じた設定となっており、多子世帯やひとり親世帯には保護者負担の軽減措置が設けられるなど、適正な受益者負担に基づくものである。

賛成討論とする。

本田　哲 議員

住民の福祉向上に全力を注ぐべき

国の言いなりの公共施設等総合管理計画策定業務に反対。

市民に対し、さらなる負担増と市民サービス削減に拍車をかけ、地域コミュニティーを崩壊させる「受益者負担の見直し方針」の見直しを強く求める。

屋外での移動に困難がある障害児・者の移動支援事業に利用時間制限が設けられた。利用者・事業所の実態を無視した改正に反対。

自転車駐車場について、契約者数は伸び悩み、指定管理者化は市民サービス向上につながっていない。受益者負担１００％の利用料引き下げを求める。

戸田東小中学校の校舎一体型は、事前説明はなく、あまりにも突然、提案された。他自治体では、基本構想から始まり、地域や保護者への丁寧な説明があり決定されている。こうした段階を踏まない予算執行は認められない。

滞納額を増やし、収納率も下げることにつながった保育園保育料の28年度の値上げは実施すべきではなかった。

今、改めて地方自治本来の役割である「住民の福祉向上」に全力を注ぐべき。戸田市には、そのことができる豊かな財政がある。平成30年度の予算編成に市民の声がしっかりと生かされることを要望し、反対討論とする。

平成28年度決算を 認定

※千円単位は四捨五入

			前年度比
一般会計	歳入（１年間の収入）	５０１億４５１６万円	0.8％減
	歳出（１年間の支出）	４７５億９０８８万円	1.6％減
特別会計	歳入	２５４億６３８６万円	6.1％減
	歳出	２３９億４８３１万円	8.1％減

（注）特別会計は、国民健康保険、介護保険、新曽第一土地区画整理事業、新曽第二土地区画整理事業など 12 会計の合計額

平成28年度決算 監査報告

全ての会計で健全財政を堅持

小川代表監査委員

一般会計について、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は約２２億８千万円の黒字となっている。歳入の根幹である市税については、固定資産税、軽自動車税、都市計画税が、前年度と比べて増となっている。

特別会計の実質収支額は約１２億７千万円の黒字となっている。

水道事業会計について、収益的収支の純利益は約１億８千万円、前年度と比べて約８千万円の減となっている。資本的収支は、約９億４千万円の不足となっており、損益勘定留保資金や減債積立金などで補てんされている。

下水道事業会計について、収益的収支の純利益は約８千万円。資本的収支は、約７億５千万円の不足となっており、損益勘定留保資金などで補てんされている。

下水道事業会計における企業債の未償還残高は約８５億８千万円、支払利息は約１億９千万円で、総費用に占める割合が８．１％、使用料収入に対する割合が１９．０％と高い値となっており、企業債への依存の高さを表していることから、下水道事業会計における将来への負担の在り方を含めた課題と捉えるべきである。

審査の結果、一般会計、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計は、いずれも健全財政が堅持されている。

水道事業会計

収益的収入	25 億 8942 万円
収益的支出	23 億 7416 万円
資本的収入	1614 万円
資本的支出	9 億 6111 万円

下水道事業会計

収益的収入	25 億 7529 万円
収益的支出	24 億 4658 万円
資本的収入	6 億 2405 万円
資本的支出	13 億 7583 万円

28年度 健全化判断比率

比率名	28 年度	27 年度
実質赤字比率	―（11.87）	―（11.92）
連結実質赤字比率	―（16.87）	―（16.92）
実質公債費比率	3.8（25.0）	3.7（25.0）
将来負担比率	40.4（350.0）	54.9（350.0）

単位％

（注）①（　）は早期健全化基準※を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「－」表示となる。

◆**健全化判断比率とは、**自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防ぐことをねらいとして制定されたものである。

※ 早期健全化基準……財政状況が悪化した場合において、自主的・計画的に財政の健全化を図るべき基準として定められた数値。

「防犯カメラ」
町会・自治会に補助金新設

一般会計補正予算

歳出では、マイナンバーカード等の記載事項の充実に係るシステム関連経費の新規計上、町会防犯カメラ設置補助金の新規計上、早期不妊検査費助成金の新規計上など、歳入では、地方創生推進交付金の新規計上、教員養成・採用・研修の一体的改革推進事業国庫委託金の新規計上などで、歳出に対する不足額として、前年度繰越金を見込んだものです。

質疑

Q 町会防犯カメラ設置補助金について①補正予算3千万円の内訳は②防犯カメラ設置後の運用や維持管理は。

A ①当該補助金は、町会・自治会が道路や公園などの公共の場所を撮影するために設置する防犯カメラに対し、機器の購入や設置工事などに係る初期費用を対象として、平成29年度から平成31年度までの3年以内に、一町会等につき補助金を1回限り交付するもの。平成29年度に設置を希望する町会等は25あり、1基当たり40万円を上限とし、かつ一町会等が設置できる基数を3基までとしたことによる積算合計が3千万円となる。なお、電気代や電柱使用料等の維持経費は補助金の対象とならないが、5年間の機器保障費用を対象として含めている②維持管理は、町会・自治会が行うこととなる。運用については、実施主体が防犯カメラの管理、運用に関する基準を作成し、指定された管理責任者が画像を適切に管理することとしている。なお、防犯カメラは設置後5年間は稼働していただくことを条件としている。

《結果》原案可決（全員一致）

【請願の結果】

【不採択（1件）】（賛成4 対 反対21）
▼「テロ等準備罪（共謀罪）法」の廃止を求める意見書の提出に関する請願

【継続審査（1件）】
○「核兵器禁止国際条約」の日本の早期調印を求める請願

市議会モニター募集

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただいたりして、意見や提言の提出などをしていただきます。

【応募資格】次の①②の要件を満たしている方
① 18歳以上の市内在住・在勤・在学している方（ただし、公務員は除く）
②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

【募集人数】 15人以内
【任　　期】 平成30年2月6日から1年間
※ 報酬なし（図書カード進呈）
【募集期間】 平成29年10月10日（火）～平成30年1月18日（木）

【申し込み】
「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由、自己アピール等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送、FAX、電子メールで応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページからダウンロードもできます。
※議会事務局の住所、FAX、電子メール、ホームページは、20ページの欄外をご覧ください。

【選考方法】
書類選考の上、決定し、結果は応募者全員へ通知します。

意見書（議員提出議案）を国・政府に提出

◇受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書

受動喫煙防止には、たばこの煙が深刻な健康被害を招くことを国民に啓発していくことが重要である。国民の健康を最優先に考え、受動喫煙防止対策の取り組みを進めるための規制を図る健康増進法の早急な改正を求める。

◇住宅の石綿被害の実態解明と対策を求める意見書

公営住宅で使われていた石綿によって居住者が健康被害に遭ったケースが明らかになった。石綿使用の実態を調査し、その結果の公表と必要な被害防止対策をとるよう要望する。

◇「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の温室効果ガス削減目標の達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を求める。

討論 >>>

▲リバプール市主催の姉妹都市調印式（平成5年2月）

姉妹都市訪問代表団
（オーストラリア・リバプール市）
議員派遣を決定（賛成21 対 反対4）

山崎　雅俊 議員　賛成

議員を派遣し意見交換や交流は大変重要

海外姉妹都市提携・友好都市締結については、都市選考過程から市と議会双方の責任において取り組んできた施策であり、戸田市議会にとって議員を派遣し、相手行政や議会との意見交換や交流をすることは、その施策を実施する上で大変重要なことである。

また、今年度、議会運営委員会において、議員の海外派遣について、その目的や日程、派遣議員の選考など、幾度となく議論を交わし、真摯に取り組んできたことから、海外姉妹都市への議員派遣に賛成する。

本田　哲 議員　反対

市民の税金を使ってまで実施すべきか、再考を

本年度の海外派遣の実施検討に当たっては、議長が事前に各会派への聞き取りを行い、議会運営委員会の場で訪問行程案が示され、今までの在り方からは大きく前進したものと評価する。

しかし、本会議最終日に示された行程案は、まだ変更もあり得るとのことで、公費で議会から派遣するに足る事業なのかを判断することはできない。

今年の派遣目的である、昨年の市制施行50周年来訪に対するお礼は市代表団だけで十分役割が果たせること、姉妹都市提携25周年記念行事は表敬訪問と夜の歓迎夕食会だけで、特別な提携における新たな式典、手続き等もないこと、中学生の相互交流の再開については国際交流協会がやるべき仕事であること、これら目的について考慮した結果、議会予算を使って訪問団を派遣することについては反対との結論に至った。

今後も議会の派遣事業は、全額市民の税金を使ってまで実施すべきなのか、再考すべきである。

三浦　芳一 議員　賛成

行ったり来たりの交流が世界平和につながる

姉妹都市交流の趣旨について協定書では、「教育・文化・スポーツ・経済の交流を通じ、両市間の相互理解を深めるとともに、両国の親善に貢献するため姉妹都市として提携する」とある。戸田市は、開封市・リバプール市とは友好親善の歴史を積み重ね、大きな成果を出してきた。それは、行ったり来たりの交流を通して、お互いが知り合い、友情を深め、友人をつくっていくことが、ひいては世界平和につながっていくものと信じての、とても大事な事業の一つと考えているからである。

反対討論者は8月9日の議会運営委員会において、「基本的に29年度の海外派遣は、目的も行程も示されているので、実施してもいいのではないか」と、はっきり言っている。ところが突然反対に転じた姿勢は無責任であり、理解に苦しむ。

不安定な情勢が続いているとき、市民による民間交流、地方行政や議会の交流こそが、大きな世界的平和への潮流を築いていけることを確信し、賛成する。

熊木　照明 議員　賛成

混迷を深めているときにこそ相互理解と親善を

今回の派遣は、議長が、今後の議員の海外派遣の在り方について、各会派から個別に意見を伺い、いずれの会派からも派遣を否定する意見はなく、派遣目的や人数、行程等について、各会派の意見の擦り合わせを十分に行えば、議員の海外派遣は可能であるとの認識に立ち、議会運営委員会で協議を進めてきた。また、目的を達成するための行程案を議長が作成し、議会運営委員会に提案、全ての会派から賛同を得た。

行程案について一部調整中であるが、派遣目的に沿った行程となるよう、さらに調整を進めていくことが確認されている。にもかかわらず反対討論者は、リバプール市が要望を受け入れなかったことを反対の理由に掲げているが、相手の都合を考えない、自分勝手な要求であると考える。

世界情勢が混迷を深めているときにこそ、姉妹都市交流を通じて、相互理解と友好親善を深めることは、世界の平和と繁栄に貢献する、大変意義のある活動であり、賛成する。

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や決算、請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、9月27日の本会議で各委員長から報告がありました。
下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・危機管理防災課・総務部・財務部・会計課・消防・行政委員会事務局等

社会人経験者の積極的な採用を

【28年度決算】

一般管理費では、社会人経験者をもっと採用すべきとの意見があり、執行部から、職員の年齢構成のバランスを考慮し、事務職は、受験者の年齢上限を26歳としているが、今後、社会人経験のある職員のパフォーマンスを見ながら検討したいとの答弁がありました。

選挙費では、選挙の際の入場券の送付状況について質疑があり、執行部から、入場券は告示日前に郵便局に持ち込んでおり、配達に3日はかかるとしている郵便局に対し、極力、地域格差が生じないよう依頼しているとの答弁がありました。

非常備消防費では、消防団員の確保について質疑があり、執行部から、広報活動等で団員の確保に努めているが、29年9月1日時点の団員数は107人で、定数の124人には達していないことから、現在、団員の定年の引き上げを検討しているとの答弁がありました。

防災費では、防災行政無線のデジタル化について質疑があり、執行部から、28年度は3基をデジタル化しており、残りの14基も、順次、デジタル化を進め、33年度に完了予定との答弁がありました。

▶消防団員による文化財保護訓練の様子

文教・建設

都市整備部
教育委員会

ワークショップで出された意見を公園整備に反映

【28年度決算】

道路新設改良費では、市役所南通りは自転車レーンが整備されているが、歩道も自転車通行可となっていることについて質疑があり、執行部から、警察と調整した結果、歩道が広く、車の交通量も多いことから、歩道は自転車通行可のままにしたほうが良いということになった。自転車の通行に当たっては、基本は自転車レーンを通ってもらいたいとの答弁がありました。

市街地開発費では、新曽中央地区の噴水公園の整備に向けて開催されたワークショップから出された意見を、どの程度設計に反映しているかという質疑があり、執行部から、公園の真ん中にある噴水、木製のアスレチック遊具、築山など、かなりの部分で反映しているとの答弁がありました。

保健費では、教職員のストレスチェックについて質疑があり、執行部から、高ストレスの結果が出た教職員に対しては、希望者に産業医等の紹介を行っている。また、教職員の在校時間調査を行っているので、業務に偏りがあるようであれば平準化し、負担をなくすよう指導していきたいとの答弁がありました。

▲公園の整備に向けたワークショップ

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

就労可能な生活保護受給者の自立を支援し、扶助費の抑制を

【28年度決算】

生活保護事務費では、ケースワーカー数と生活保護世帯数の状況について質疑があり、執行部から、年度末にケースワーカーが1人退職し、減員しており、増員を要望している状況と、生活保護世帯数が少しずつ増加している状況の説明があり、委員からケースワーカーの増員を求める意見がありました。

生活保護扶助費では、医療扶助を中心に扶助費が全体的に増加傾向にあり、生活保護世帯数も、高齢者世帯の増加に伴い、今後も、少しずつ増加することが見込まれることから、就労可能な方ができる限り自立できるような丁寧な支援、不正受給防止の取り組みなどにより、扶助費の増加を抑制してもらいたいとの意見がありました。

【介護保険特別会計決算】

基金積立金の状況について質疑があり、財政安定化基金の償還が今年度で終了することから、介護保険料の過大徴収、継続的な基金積み立てが行われることのないようにしてもらいたいとの意見がありました。

▶生活保護業務を行う生活支援課の様子

市民生活

市民生活部・環境経済部
上下水道部

AED未設置の町会会館に設置の働きかけを

【28年度決算】

交通対策費では、コミュニティバス運行事業における今後の課題について質疑があり、執行部から、経年劣化によるバス車両の入れ替え等が課題と考えているが、現在の規模を維持しながら安定した運行を行っていきたいとの答弁がありました。

行政振興費では、町会・自治会に対するAED購入費補助について、人の命を救うAEDの設置が広がっていくことは大事なので、町会会館にAEDが未設置の町会・自治会には、設置の働きかけを引き続き行ってほしいとの意見がありました。

交通安全対策費では、指定管理者による管理運営へ移行した自転車駐車場の営業利益が赤字となった点について質疑があり、執行部から、収益を上げつつ費用を抑え、サービス向上にも努めたいと指定管理者から聞いているとの答弁がありました。

【29年度補正予算】

防犯対策費では、町会防犯カメラ設置補助金について、今後、カメラの台数を増やす場合、町会・自治会が管理できるか不安が残るとの意見があり、執行部から、町会・自治会から意見を聞きながら、より良い方向に進んでいきたいとの答弁がありました。

▲町会会館に設置されているＡＥＤ

一般質問

議員は、毎年３月、６月、９月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、１９人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の模様は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

平成29年9月27日撮影（全員協議会室）

次期市長選挙

神保市長の出馬意思は

「今期限りで市長の職を退任」

伊東（いとう）秀浩（ひでひろ）議員

議員　神保市政が誕生してから今日までの20年間、情報公開制度の構築、合併への不参加、健全財政の維持など、スピード感をもって諸課題の解決に取り組まれ、全国対象のあらゆる調査のランキングでも高い評価を得られる都市として成長しており、市長に対する市民の期待は大きいが、次期市長選挙への出馬意思は。

市長　この20年間、戸田市の将来が頭から離れたことは片時もなく、初心を忘れず、決しておごらず、謙虚な気持ちで公務に当たってきた。今後は一市民として、発展する戸田市を陰ながら見守っていく決断をし、今期限りで市長の職を退任し、次期市長選挙には立候補しないことを表明する。私のまちづくりに対する思いを継承し、今のスピードを減速させないでけん引できる方に市長の職を引き継いでもらいたい。

▲５期20年間、戸田市政を担った神保国男市長

市長公約の達成状況と実績・達成見込みは

議員　市長の今期の公約は８分野76事業だが、達成状況と実績、達成見込みは。

市長　平成28年度までの達成状況は、達成が29事業38％、一部達成が40事業53％、取組中が７事業９％。当初の計画通り推移。事業内容は、待機児童解消の緊急対策、学童保育室受入年齢の拡大、市民要望に応えた施設整備の促進など、広範な課題解決に対応。全ての事業が着手済みで、年度末までに達成見込み。

○８月25日と９月27日の本会議は、議場での天井改修工事のため、全員協議会室での開催となりました。

災害対策

「ペット同行避難訓練」の実施を

「避難所訓練を実施する中で検討」

手塚（てづか）静枝（しずえ）議員

議員　災害発生に備え、平時からの万全の対策が大事である。避難訓練について伺う。

①過去の災害ではペット同行避難が課題となり、ペットと安心して避難生活が送れる対策が必要である。ペットと一緒に避難するためのポイントとなる「避難所受付、ペットスペース・トイレスペースの設営、避難所でのルール、飼い主の事前の準備」などをメニューに入れた、ペット同行避難訓練を実施してはどうか②災害時に役立つ「パッククッキング」を、学校の防災教育授業と、市の各種防災訓練に導入してはどうか。

危機管理監　①災害時でも生活を維持するための事前対策を啓発することが重要である。ペット同行避難は、避難所を運営する上での課題であることから、今後、避難所の訓練を実施していく中で検討していく②災害時の食料を提供する手段の一つとして、今後、防災訓練などを通じて周知していく。

教育部長　②災害時における工夫について学べる。校長会に情報提供する。

あいサポート運動を

議員　障がいのある方を優しく支え、地域全体で「障がいを知り、共に生きる」取り組みを行う「あいサポート運動」を、本市でも取り組んではどうか。

福祉部長　本格的な導入については幾つか課題があることから、今後、研究していく。

▶①ペット同行避難訓練：受付の様子とペットスペースの設営（京都市保健福祉局医療衛生推進室医務衛生課ホームページより）

一般質問

学校地域連携

4月開始のコミュニティ・スクールとは何か

「地域で子供たちを育む新しい制度」

林（はやし）冬彦（ふゆひこ）議員

つぶやき　戸田市の教育環境が大きく変わる。期待！

議員　戸田市の全小中学校が来年４月から導入するコミュニティ・スクール（以下、CSと略）とは何か。

教育部長　地域で子供たちを育む新しい制度。教育を取り巻く環境が大きく変化する中、子供たちに「生きる力」を身に付けさせるため、地域住民や保護者が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組み。戸田市は他市に先駆けて市内全小中学校にCSを導入する。

議員　CSについて、どう市民に知らせ、意見を募っていくのか。

教育部長　ネットや広報紙でお伝えするほか、町会、民生委員、児童委員、学校応援コーディネーターの会議等で説明していく。市民の方も、それらを通じて情報収集や意見交換を行ってほしい。

▲戸田第一小学校全景

大規模災害発生後市の対応は

議員　市はどう対応し情報発信するのか。

危機管理監　災害対策本部等を設置し、市内の状況把握や国・県からの情報の集約を行い、被害状況や生活情報等の必要な情報を、防災行政無線のように市域全体に対し一斉に広報を行うものや、市外にいる方に対しても情報提供のできるホームページやSNS等の活用、さらに避難所では掲示板等で提供していく。

学校を避難場所として防災訓練の充実を

防災対策

「重要な場所。訓練等の充実を図る」

細田（ほそだ） 昌孝（まさのり） 議員

議員 地域防災計画では、しっかり公共施設（学校）等を避難場所として指定している。そこで、今後、学校を避難場所として防災訓練の充実を図る必要があるのでは。

危機管理監 被災時に周辺住民等が真っ先に集まる重要な場所となるので、学校を利用した防災訓練等の充実を図っていく。

議員 ①緊急輸送道路、一部未整備箇所がある。早急に整備を②河川監視カメラを増設すべきと思うが。

都市整備部長 ①市民の避難や緊急車両の通行等が円滑にできるよう、道路・橋梁の整備を推進していく。

危機管理監 ②昨今ゲリラ豪雨等による急激な水位の上昇があることから、場所等も含め増設について検討する。

▶戸田公園・高規格堤防におけるヘリコプター離発着訓練の様子

議員 緊急時、高規格堤防を24時間運用可能な臨時離着陸場として利用できないか。

消防長 防災拠点として重要度も高いので、国・県へ要望する。

議員 ボランティア事前登録制など考えては。

危機管理監 事前登録制等を含め、検討が必要と考えている。

学校給食の量について

議員 生徒及び保護者等から学校給食の量が少ないとの意見があるが、何か対策を。

教育部長 校長会に情報提供していく。

市職員採用

障害者雇用採用条件の見直しを

「『自力通勤』の表現を見直す」

佐藤（さとう） 太信（たかのぶ） 議員

議員 市職員の障害者雇用の現状は。採用条件の①自力通勤②介助なしでの職務遂行③活字印刷による筆記試験が求められており、受験できないと考える人もいる。多様な人材を確保するために条件の見直しを。

総務部長 現状は法定雇用率を達成。①タクシー等を利用して通勤できれば自力通勤に当たるので、表現を見直す②③市職員と同じように職務が遂行できる者とし、見直さない。

民間事業所の障害者雇用の推進を

議員 中学校特別支援学級卒業後、高校に通う生徒らの就労支援を。

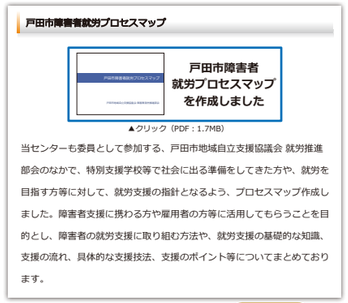
福祉部長 就労支援に結びつけられるよう教育委員会と連携する。

議員 民間事業者への支援、雇用推進策は。

福祉部長 障害者就労プロセスマップを作成、関係者が活用するほか、雇用主に情報提供、就労支援を進めていく。

議員 条件を満たした事業所に優良事業所認証を与えては。

福祉部長 関係機関と連携し、研究していく。



戸田市障害者就労プロセスマップ

戸田市障害者就労プロセスマップを作成しました

▲クリック（PDF：1.7MB）

当センターも委員として参加する、戸田市地域自立支援協議会 就労推進部会のなかで、特別支援学校等で社会に出る準備をしてきた方や、就労を目指す方等に対して、就労支援の指針となるよう、プロセスマップ作成しました。障害者支援に携わる方や雇用者の方等に活用してもらうことを目的とし、障害者の就労支援に取り組む方法や、就労支援の基礎的な知識、支援の流れ、具体的な支援技法、支援のポイント等についてまとめております。

▶戸田市障害者就労プロセスマップを作成しました（社会福祉法人戸田わかくさ会・戸田市障害者就労支援センターホームページより）

教育相談の見直しを

議員 SNSを活用した相談窓口の開設を。

教育部長 埼玉県立総合教育センターでメール相談対応が可能。SNS等を活用した相談体制は、国や先行自治体の動向を注視したい。

人工内耳補聴器の買い替え・電池代補助を

聴覚障害者支援

「国や県、県内の状況も参考にする」

三輪（みわ） なお子（こ） 議員

議員 人工内耳について①認識②把握状況について伺う。

福祉部長 ①この30年の間に聴覚に係る治療として大きく進歩。補聴器の効果が得にくい重度の難聴者にとって大きな成果が証明されている画期的な治療法である②障害者手帳を取得し障害福祉制度により支援している方に限られるが、現在1人、把握している。

議員 人工内耳補聴器（サウンドプロセッサ）の買い替えは1台100万円前後、原則自己負担となっている。年々バージョンアップもあり、例えば1、2歳で人工内耳を入れたとすれば、20歳になるまでに3回から4回程度、買い替えが必要になってくる。また、1カ月の電池代は、一例を挙げると、ボタン電池6個入り1週間に1度交換したとして、1カ月の電池代は2300円～2500円。充電池・充電器は寿命があり、1台1万～数万円、これを生涯負担しなければならない。人工内耳装用者支援として、サウンドプロセッサ買い替え代、電池代等の助成をするべきではないか。

◀人工内耳と、人工内耳をつけた女の子（かわいいフリー素材集いらすとやホームページより）

福祉部長 この治療による効果や実績が確立されてきていることもあり、今後、国や県、県内の状況も参考に検討していきたい。

その他の質問

Q 道満河岸釣り場・シルバー料金の値下げを。

A 難しいと考える。

空き地・空き家

空き家の相談件数と対策は

「相談57件に適正管理を求める」

十川（そごう） 拓也（たくや） 議員

議員 ①空き地の相談、対策の現状は②空き家実態調査の件数、相談件数と、対策の現状は。

環境経済部長 ①相談は平成27年度6件、28年度6件、今年度2件。指導助言により全案件で対応済み。

都市整備部長 ②水道閉栓データ及び建物の外観調査を行った。可能性ある件数は263件。樹木繁茂・老朽化等の相談が57件。対策は助言及び指導を通じ、適正管理を求めている。

議員 相続人の不明案件の対応は。また、改修、除却等の支援制度は。

都市整備部長 不明案件は、家庭裁判所申し立て、相続財産管理人制度の活用も勘案し対応。改修、除却等については、空家等対策計画策定後、同計画の方針に基づき、経済的支援制度を検討する。

市民大学の現状と課題は

議員 市民大学認定講座の現状と課題は。

教育部長 平成22年開校し、現在8年目。平成28年度は3500人以上（40講座）参加、修了者数も延べ72人と年々増加中。課題は、認知率25・9％と低く、知られていないこと。

議員 修了者にグループワークリーダー等、学びを生かせる場の提供を考えてはどうか。

教育部長 学んだ知識を生かし活躍いただくことは、大変有意義であり、そうしたい。

▶市民大学認定講座

交通安全対策

さいたま市と同様の掲示物を設置できないか

「提案の表示方法参考に検討したい」

本田 哲（ほんだ てつ） 議員

議員 歩者分離式信号機の本町2丁目交差点は、ほとんどの自転車利用者が自転車に乗ったまま、歩行者用信号機に従い横断している。さいたま市では「歩行者用信号青のとき自転車はおりて渡りましょう」との掲示物を張り、自転車利用者への注意喚起を実施している。さいたま市と同様の掲示物を設置できないか。

市民生活部長 提案いただいた表示方法を参考にしながら、注意喚起の方法を検討したい。

tococoバス停留所の充実を

議員 昨年6月議会で、戸田公園駅西口のtococoバス停留所にベンチの設置を求めた。「設置について検討する」との答弁であったが、その後の検討状況は。

市民生活部長 利用客の利便性向上に資すると考え予算要求をしたが、認められなかった。今後も設置に向けて予算措置を検討する。

▶さいたま市に設置されている注意喚起のステッカー

抜け道ではないと分かる看板の設置を

議員 戸田中通りからつながる市道3075号線は、抜け道になっていると勘違いし、進入してくる車両が多い。抜け道ではないことが分かる看板などを設置し、歩行者、近隣住民への交通安全対策を講じるべきではないか。

市民生活部長 市道3075号線入り口に立て看板を設置することが考えられるが、蕨警察署と協議しながら対応策を検討したい。

一般質問

パークゴルフ場

来年7月開設予定。運営管理は

「市直営による業務委託」

浅生 和英（あそう かずひで） 議員

議員 上部公園の有料施設として来年7月開設予定のパークゴルフ場は、子どもから高齢者まで楽しめる①運営管理は②周辺道路の安全確保は③市民の優先利用は④利用促進の広報は⑤災害時の避難場所としての活用は。

環境経済部長 ①市直営による業務委託②県警や道路管理者と協議を行う③使用料は、市内外を分けて設定予定④広報及びホームページ、SNS等活用⑤施錠管理のため難しいが、地元の要望もあり、管理棟にソーラー発電や備蓄場所等を設置予定。正式活用は、県と所管課と慎重に調整する。

▲上部公園のパークゴルフ場と遊具

その他の質問

Q 児童虐待が社会問題。周知啓発を保護者や教職員の大人だけではなく、児童生徒への教育、周知啓発も、予防や早期発見に効果的だと思うが。

A 子どもの人権意識を高め、周囲の人に相談することや、自分や他者を大切にする心情を育てることは、児童虐待防止にもつながる。電話相談窓口があること、つらいときに我慢せず相談する大切さも知らせている。

Q 美女木八幡歩道橋に「ちかんに注意」の看板。安心安全のため、さらなる対策を。

A 昨年、歩道橋での声かけ事案と痴漢被害報告はない。施設改善が可能か、改めて国土交通省と協議し、提案していく。

特別支援教育

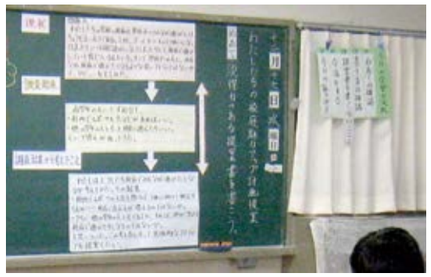
授業※のユニバーサルデザイン化を

「全学校へ広まるよう取り組む」

金野 桃子（こんの ももこ） 議員

議員 発達障害のあるお子さんを育てるお母さん方と意見交換を重ねた。①全小中学校に特別支援学級等の拡大を②学校選択制の検討を③授業のユニバーサルデザイン化を④学校と連携し学童保育室等もユニバーサルデザイン化を⑤発達障害への理解を広げる施策を。

教育部長 ①需要に応じて拡大。平成33年度に設置率83・3％を見込む②導入予定はない③既に教師の研修会を通し全学校へ広めている④関係課から要望があれば伝える⑤保護者へはSNS等を活用して周知する。



▶授業のユニバーサルデザイン化

こども青少年部長 ④学童保育室等でも学校と連携し、対応の充実に取り組む。

福祉部長 ⑤まちづくり出前講座を通して理解を広げたい。

成年後見制度の推進を

議員 今年3月の成年後見制度利用促進基本計画に基づき、戸田市の現状を踏まえ、①市町村計画の策定②地域連携ネットワークの設立③審議会等の設置を。

福祉部長 戸田市の高齢化率は15・9％。①今後国の工程表に基づき計画策定を進める②地域ケア会議等既存の組織を活用する③総合介護福祉市民協議会等既存の組織を活用する。

その他の質問

Q こどもの国プール3部制へ改正を。

A 今後調査研究する。

Q 学習室の常設を。

A 夏休み等期間限定開放を検討する。

こえがききたい

防災・減災対策

タイムライン策定のプロセスを重視すべき

「関係機関が参加し5月試行版策定」

三浦 芳一（みうら よしかず） 議員

議員 新たな水害多発時代に備え「タイムライン」（事前防災行動計画）策定と、そのプロセス・運用が大事であり、重視すべき。

危機管理監 荒川下流河川事務所が主導し、県・沿川自治体・地方気象台等の関係機関が参加し会議を重ね、今年5月に試行版を策定し、運用している。

▲タイムライン会議

議員 住民の命を守るためには、全地区・コミュニティが自発的に動く仕組みを作る必要がある。自主防災会、消防団、民生委員等の地域住民が参加しての「地区タイムライン」策定の推進を図れ。

危機管理監 市の「タイムライン」と連動させ、作成を促す。

議員 タイムラインにホットラインが明記。その内容は。

市長 荒川河川管理者から直接連絡が入り、的確な情報分析で避難勧告等の判断をする。

緊急輸送道路の路面下空洞調査の実施を

議員 地域防災計画に道路陥没対策を明記するべき。いかがか。

危機管理監 対応できるよう検討する。

ドローンの活用を

議員 災害時にドローンの活用が有効であると考える。いかがか。

危機管理監 課題もあるが、有効な手段と認識。民間事業者との協定など検討する。

消防長 さまざまな課題もあり、検討委員会を立ち上げ、今年度中に方向性を出していく。

※ 授業のユニバーサルデザイン化……年齢や障がいの有無にかかわらず、全ての児童に分かりやすいように工夫された授業。

防災行政無線

電話確認サービスのシールを作成し配布を

「当面は広報などで周知を図る」

石川 清明 議員

議員 防災行政無線による放送は、天候や地理的条件、建築環境によって「聞き取りにくい」「何を言っているか分からない」など、多くの声を聞いている。防災行政無線で放送した内容を電話で確認できるように、電話機や、その近くに貼れる、電話番号が記載された確認サービスのシールを作成し、配布してはどうか。

危機管理監 防災行政無線が聞き取りづらい方が、放送内容を確認するための補完的な役割として、無料テレホンサービスを整備している。前年度の利用件数は1125件で、現在、ホームページやハザードブック、広報などで周知を行っている。今年の11月にも防災タウンページの全戸配布も行う予定。当面は、これらの手法を用いて電話確認サービスの周知を図る。

議員 防災行政無線の戸別受信機設置について、建物内や地下でもつながりやすいポケットベル電波を使った情報提供システムがある。専用端末に文字や音声で緊急情報が流れ、避難指示などを住民に伝えるのにとても効果的。この専用端末設置に助成制度を設けて、普及に努めてはどうか。

危機管理監 現在、発信している電波と異なる電波を発信する必要があり、設置には一定の費用が必要。放送内容を届ける手法は、戸別受信機以外にもさまざまあることから、経費等を含めて検討する。

▶戸田市防災行政無線無料テレホンサービスの案内

戸田市防災行政無線無料テレホンサービス

市内に設置しているスピーカー「防災行政無線」で放送した内容を、フリーダイヤル（無料）で再度お聞きになることができます。
※プッシュホン信号の出る電話機をご利用ください。

防災行政無線フリーダイヤル
0120-13-8882

いじめ対策

いじめゼロへ大人が全力を尽くすべき

「様々な具体策も積極的に進める」

竹内 正明 議員

議員 いじめ防止対策推進法施行から4年。全国では、いまだに、いじめが原因と思われる自殺が絶えない。本市の新たな取り組み「『いじめ根絶』ピースプロジェクト」について伺う。

教育部長 全小中学校で動画を活用した「いじめ根絶特別授業」の実施など、切れ目のない取り組みを推進している。「いじめをしない、させない、許さない風土づくり」に努める。

議員 「戸田市いじめ防止基本方針」の改定について伺う。

教育部長 本年8月に全国に先駆けて改定した。市長をはじめ、関係部局の職員や教育委員、弁護士、臨床心理士、大学教授、精神科医、PTAや学校長などが一堂に会した合同会議の開催や、パブリック・コメントの意見も取り入れた。

議員 いじめゼロへ。子どもたちのためにも大人が全力を尽くしていくべきと考える。

教育部長 基本方針を実効性のあるものにするために様々な具体策も積極的に進めていく。

▶小学校ピースプロジェクト動画授業風景

熱中症対策は

議員 学校運動会で児童席にテントの設置を。

教育部長 今後、校長会に働きかけていく。

その他の質問

Q パパ・ママ応援ショップ事業の周知を。

A さらなる周知に努めていく。

国民健康保険

大幅な値上げで滞納者が増加するのでは

「制度への理解を求めていく」

花井 伸子 議員

議員 国保税は所得の約1割もの負担となっている。来年度からの保険税の大幅値上げで、滞納者がさらに増加するのではないか。

福祉部長 負担が上昇することで滞納世帯が増加する懸念もあるが、持続可能な国保制度への理解を求めていく。

議員 持続可能な制度の維持というなら、値上げではなく値下げすべき。また、低所得者の法定減免の適用、その他の減免制度の周知をしっかりと行うべき。

福祉部長 低所得者軽減の適用判定のため、未申告者や被扶養者がいる世帯には、税申告の説明や勧奨を行い、他減免制度の周知に努める。

図書館本館の改善を

議員 8月に指定管理者制度導入の決定がされたとのことだが、決定理由は。

教育部長 戸田市行政改革・公共施設再編プランに位置付けられている。30年度途中から31年度いっぱい、施設改修工事を行う間、休館せざるを得なく、図書館職員、非常勤職員を大幅に削減し、32年度再開において経費削減や円滑な業務継続などを考慮し、指定管理者制度の導入を決めた。

議員 行政改革は市民参加、地域コミュニティが重要であり、利用者アンケートの結果は41％が直営を選択。市民と共に改革することが今後に大いに役立つ。再検討を求める。

▶戸田市立図書館

高齢者支援

介護保険料を引き下げるべき

「低所得者への配慮を検討」

むとう 葉子 議員

議員 第6期介護保険事業における県からの基金借り入れ返済は終わるのか。平成28年度の準備基金積立額はいくらか。介護保険料を引き下げるべき。

福祉部長 県基金への返済は今年度で終わる。準備基金は約1億4千万円を積み立てている。保険料は低所得者に配慮した検討を進める。

議員 介護職員への処遇改善はできないか。

福祉部長 近隣市の状況を把握しつつ、国へ必要な働きかけをする。

議員 独居高齢者・老老介護世帯に、市独自の生活援助を行うべきと考えるが。

福祉部長 現在、介護保険制度における総合事業の市独自サービスを考える中で、関係機関と検討・協議を行っている。

▶デイサービスでの体操

中町多目的広場の整備を

議員 ボール広場にバスケットゴールとサッカーゴール設置の要望署名を2度にわたり提出したが、設置の検討状況は。

財務部長 「青少年の広場」として運用していく方向で関係部署と協議し、設置する備品等は予算化を検討している。

その他の質問

Q 戸田東小中一貫校建て替え工事期間中の部活動における移動中の安全対策は。

A 保護者や地域の方への見守りの協力要請含め検討。

tocoぷり

企業の評価手法の導入と効果の検証を

「今後研究する」

矢澤 青河（やざわ はるか） 議員

年度	平成26年12～3月	平成27年度	平成28年度	備考
決算	867万2400円	518万7240円	170万4240円	計1556万3880円
内訳	開発：810万4320円 保守：56万8080円	改修：348万3000円 保守：170万4240円	保守：170万4240円	全平成27年度の改修は定期国庫補助交付金
ダウンロード数	2,708件／4ヶ月	1,574件／年	1,390件／年	計5672件（市の総人口約1万人）
登録者数	706件／4ヶ月	311件／年	208件／年	計1225件（DL数の21.6%）
投稿（市と市民）	201件／4ヶ月	846件／年	704件／年	全体の投稿数（一日平均2件程度）
投稿（市民のみ）	60件／4ヶ月	318件／年	308件／年	市民の投稿数（一日平均1件弱）
投稿人数（市民）	21人／4ヶ月	83人／年	42人／年	実際に投稿した市民の人数
要望等対応数	10件／4ヶ月	40件／年	18件／年	市民の要望等に市が対応した件数

▲tocoぷりの実績とKPIツリー

議員 運用からもうすぐ3年。導入効果は。

政策秘書室長 毎月約百件ダウンロード。興味関心の結果と思う。

議員 一般的なアプリはダウンロード後、1週間で8割が使わなくなるという。企業では無料の解析ツールで継続率等を測り、※KPIツリーを作成している。企業の評価手法の導入と効果の検証を。また、評価やデータの公開と蓄積、ユーザーインターフェース等ご要望ボタンを導入できないか。

政策秘書室長 指標は視点によってさまざま。議員提案もその一つ。今後研究する。

いいとだマップの活用

議員 いいとだマップは少し利用しづらい。グーグルマイマップの活用で、スマホでの視認性向上、アプリの位置情報、各担当課HPでの埋め込み地図がコストをかけず可能となる。導入してはどうか。

総務部長 スマホ等での閲覧が容易であり、各担当課と調整を図りながら掲載を検討する。

その他の質問

Q アレルギー対策を。

A 母子保健等は既存事業の充実を図る。災害時は症状に合わせ個別対応。

Q 交通・不審者対策、総合防災訓練参加、地域で子供の安全を。

A 学校、保護者、地域と連携し安全確保に努める。子供の訓練参加は自助や共助の意識を高める上で必要。

一般質問

補助金適正化

交付基準の見直し 総合的な取り組みを

「全庁的な取り組み通じ実効性確保」

酒井 郁郎（さかい いくろう） 議員

つぶやき
まってます！

議員 補助金はその効果が曖昧である、既得権化しやすい、などの問題点が指摘されている。①交付先や金額等を公表し、透明化を②補助事業効果の検証、原則公募とする、基準に合わない補助金を原則廃止する等、交付基準の見直し、総合的な取り組みを。

財務部長 ①公表する内容や効果的な方法を検討する②基準の点検や厳密化、透明化、見直し状況の公表など、効果的な見直しを実施したい。庁内通知や研修を活用した全庁的な取り組みを通じて実効性を確保する。

人事・給与構造改革

議員 ①年功序列による弊害を解消し、責任に応じた処遇を得られ、頑張る職員が報われる給与制度へ②多くの職員が評価する「多面評価」や、適正な調整を行うことで納得性を高め、職員の成長やモチベーション向上につながる評価制度へ③災害等に備え、職員の市内居住を促進する制度へ。

総務部長 ①検討する②効果を調査する③手法を研究する。

その他の質問

Q SNSやチャットによる問い合わせ窓口を作っては。気軽に問い合わせできる上、職員も問い合わせ対応の負担が減らせる。

A 研究していく。

▲市役所窓口。市職員の日常業務の多くの時間が電話や窓口での問い合わせ対応に割かれる。

※KPIツリー……アプリの目標達成に必要な要素を施策として実行可能なところまで分解した指標の一覧。

交通安全対策

横断歩道、早急に改修を

「蕨警察署に要望していく」

土屋 英美子（つちや えみこ） 議員

議員 笹目電話局通り、医療保健センター入り口の横断歩道の路面標示が消えかかっている。改善を求める要望がある。早急に改修を。

市民生活部長 横断歩道の管理は警察の所管であるが、蕨警察署に早急に要望していく。

議員 信号機の設置、横断歩道をもう1カ所増やせないか。

市民生活部長 蕨警察署では、隣接する信号機との距離が短いため信号機設置は難しいとの見解。横断歩道は1カ所が適当との見解。

福祉センター使用料減免廃止の見直しを

議員 「受益者負担の見直し方針を検討する」懇話会で「減免はなくす」と一致。6月の説明会では「話もなく決めてひどい」等、多くの不満が出た。市民への十分な話し合いや説明がされたのか。

福祉部長 説明会、説明文書の送付、館内掲示、ホームページ等で知らせた。

議員 高齢者が楽しく元気にサークル活動をすることで、高齢者対策等総合的な観点から考えるべきではないか。

福祉部長 高齢者事業は変わらず実施する。施設利用においては、利用者からの公平な負担をお願いする。

議員 もう一度公平性の意味を考えて、幅広い世代が誰でも利用できるよう、減免廃止の見直しを求める。

▶消えている横断歩道（市民医療センター入り口）

ここがききたい

新曽中学校

生徒が増加するが教室不足の対応は

「31年度に校舎の増築を行う予定」

高橋 秀樹（たかはし ひでき） 議員

議員 新曽中学校は、生徒数が増加し、3年後には千人を超える状況にあり、教室不足になると思う。①生徒数の増加の状況と、教室不足の対応は②生徒数の増加や災害時の避難場所も考え、隣接する資材置き場の取得を考えてはどうか。

教育部長 ①生徒数は、平成32年度には983人の25クラスとなり、教室不足になる。41年には1286名で34クラスを想定している。平成31年度に、将来見込まれる生徒数に対応した校舎の増築を行う予定②土地の取得は現段階では考えていない。

▶新曽中学校

スポーツセンターの施設整備を

議員 ①スポーツセンターの第一競技場の床の早急な補修工事が必要②駐車場が60台も少なくなり、休日は満車で利用できないが、増設はできないか③既存プール棟は、大規模改修工事に合わせての実施では、9年間も利用できない。早期改修はできないか④下戸田地区にはスポーツ施設がなく、第2スポーツセンターの建設は考えられないか。

市民生活部長 ①第一競技場は、平成34年に床の全面張り替えを行う予定。本年末に破損箇所の修繕を行う②駐車場の増設は、立体駐車場も検討する。当面は、近隣の空き地の借用も含め検討する③既存プール棟は、平成31年度の基本計画策定の際に検討する④用地の確保、財政状況的にも厳しい。

委員会視察レポート

閉会中に実施した視察について、8月25日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

交通対策特別委員会

大阪府箕面市／兵庫県明石市

コミュニティバスの維持改善に向けた取り組み

箕面市では、行政、市民、交通事業者、学識経験者などから構成される協議会を設置し、運行ルート、ダイヤ、運賃等の検討を行ったり、年度ごとに収益率、利用率、認知率等の基準をもとに評価を行い、持続可能な運行に向けた見直しを行っていました。

明石市では、交通事業者や地域と連携しながら、数多くの利便性向上策や利用促進策を実施しており、その結果、利用者数が大幅に増加していました。これらの取り組みからは、市の担当者の熱意を感じ取ることができました。

【検証の結果】

両市ともに、運行事業者、地元企業、地域住民など多くの人を巻き込んでコミュニティバスの維持改善に向けた取り組みを行っていたことが印象的でした。

▶7月4日　箕面市役所にて

議会改革特別委員会

福岡県嘉麻市／山口県下関市

タブレット端末の導入によりペーパーレス化

嘉麻市議会では、タブレット端末を利用し、紙資料の配付を全廃する「会議のペーパーレス化」を視察しました。紙資源の削減による費用抑制のほか、資料の印刷、配付、保管等に要する事務負担の軽減、会議の招集通知やスケジュール管理の効率化を実現していました。

下関市議会では、本会議、委員会のインターネット中継を視察しました。議場、全員協議会室及び2つの委員会室に、映像・音響機器並びにインターネット配信用機器を設置、無料動画共有サービスを利用し、配信を実現していました。

【検証の結果】

タブレット端末について、導入の効果や年配の議員でも特に不自由なく使うことができる点などが確認されたため、戸田市においても導入に向け検討することになりました。

▶7月3日　嘉麻市議会議場にて

総務委員会

国立スポーツ科学センター

パラリンピック選手が使いやすいよう既存施設を改修

国立スポーツ科学センターは、平成28年度から、オリンピック選手だけでなく、パラリンピック選手も使用できるようになり、一部の宿泊室を車いす対応に改修したほか、各フロアの扉を自動ドアにするなど、パラリンピック選手が使いやすいよう対応していました。

【検証の結果】

既存施設のバリアフリー化という点で、参考になりました。

▶7月27日　国立スポーツ科学センターにて

文教・建設委員会

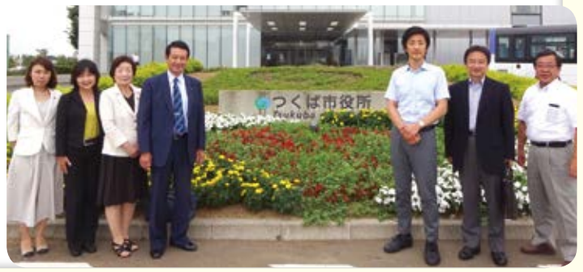
茨城県つくば市

市内全ての小中学校が中学校区ごとに学園を形成

つくば市では、中学校区ごとに学園名を決め、市内全53校が15の学園を形成しており、全ての学園で、義務教育9年間を通した共通の目標や指導内容、指導方法を設定し、目指す児童生徒像を共有しながら、系統的な教育を行っていました。

【検証の結果】

本市でも、小中一貫教育の理念や基本構想を全市的にしっかりと作り込んでいく必要があると感じました。



▶8月4日　つくば市役所にて

第26回全国市町村交流レガッタ由利本荘大会

議員クルーが銅メダル獲得！

9月23日・24日に秋田県由利本荘市の子吉川ボート場で、第26回全国市町村交流レガッタ由利本荘大会が開催され、戸田市議会は「サクラソウ」と「モクセイ」の2クルーが参加しました。

日頃の練習の成果を発揮し、2クルーとも準決勝進出を果たし、中でも「モクセイ」は決勝戦に進出して、見事3位で銅メダルを獲得しました。

▲銅メダルを獲得し、笑顔の戸田市議会

美里町議会との交流会を実施

議員互助会では、7月28日、姉妹都市である美里町との議員交流会を、戸田市で開催しました。

上戸田地域交流センター（あいパル）、市民医療センター、ボートレース戸田の視察と、意見交換会を行いました。

意見交換会では、両市町の現状や課題について意見交換を行うなど、大変有意義な交流会となりました。

▲市民医療センターにて

議会日誌

7月

4日～5日　視察（交通対策／議会改革）
6日　新座市議会視察来庁
10日　議員互助会役員会／議会広報委員会
11日　議会モニターとの意見交換会
12日　愛知県豊田市議会視察来庁
13日　戸田競艇企業団議会／愛知県稲沢市議会視察来庁／健康福祉委員会
18日　議会広報委員会／議会改革特別委員会
19日　大阪府大東市議会視察来庁／愛媛県四国中央市議会視察来庁
21日　議員互助会役員会／議会運営委員会
25日　常任委員会（総務／文教・建設／市民生活）
26日　県南都市問題協議会正副会長会議・役員会／香川県高松市議会視察来庁
27日　総務委員会視察
28日　美里町議会との友好交流事業

8月

2日　兵庫県明石市議会視察来庁
3日　戸田競艇企業団議会議会運営委員会／愛媛県西条市議会視察来庁
4日　文教・建設委員会視察／総務委員会市内視察
7日　蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
8日　県南都市問題協議会総会・研修会
9日　議会運営委員会／議会改革特別委員会
17日　岡山県瀬戸内市議会視察来庁／戸田競艇企業団議会
18日　交通対策特別委員会／議会運営委員会／常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
22日～23日　戸田競艇企業団議会議会運営委員会視察
23日　兵庫県伊丹市議会視察来庁
24日　蕨戸田衛生センター組合議会
25日　本会議（議案説明）／議会運営委員会／議員互助会役員会

9月

3日　市議会知っ toco ツアー実施
4日　本会議（議案質疑）／委員長会議／議会広報委員会
5日　本会議（一般質問）／議会運営委員会
6日～7日　本会議（一般質問）
8日　本会議（一般質問）／議会運営委員会
11日～13日　文教・建設委員会
11日～14日　常任委員会（総務／健康福祉／市民生活）
15日　特別委員会（交通対策／議会改革）／議会運営委員会
19日　健康福祉委員会市内視察／健康福祉委員会
21日　総務委員会市内視察／総務委員会
23日～24日　第２６回全国市町村交流レガッタ由利本荘大会
27日　各派代表者会議／議会運営委員会／本会議（委員長報告、討論、採決）／議会広報委員会
28日　戸田競艇企業団議会議会運営委員会
29日　宮城県柴田町議会視察来庁

題字を書いてくれた人

私は、この「とだ」に、元気で明るい戸田市を表せるよう意識して書きました。難しかったですが、とても良い経験になりました。

笹目中学校　１年　土屋（つちや） なつみさん

知っtocoクイズ当選者

6月定例会号「知っ toco クイズ（№6）」の正解は、問1「未来へ」、問2「戸田市内」でした。
正解者 14 人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- 青沼 みつおさん
- 吉見 彩さん
- 奥薗 佳子さん
- 井上 和子さん
- 岸 桂子さん

おめでとうございます。

12 月定例会の予定

※ 日程は変更になる場合があります。

11月	22日（水）	本会議（開会、議案説明）
	30日（木）	本会議（質疑、請願の提出、委員会付託）
12月	1日（金）	本会議（一般質問）
	4日（月）	本会議（一般質問）
	5日（火）	本会議（一般質問）
	6日（水）	本会議（一般質問）
	7日（木）	常任委員会
	8日（金）	特別委員会
	15日（金）	本会議（委員長報告、討論・採決、閉会）

気軽に市役所へ傍聴においでください。

ほっとコーナー

血　管年齢48歳！思いがけない結果にバンザーイ！いやいや、油断大敵。暴飲暴食は極力控えて、早寝早起き、ポジティブ思考でストレスためず、いつまでもかわいい孫たちの元気な「アイドルばあちゃん」でいられるよう頑張らなくては。（花）

中　学校の体育祭を見学しました。5月は小学校の運動会を見学しました。全力で元気いっぱい！感動しました。近年の私は、何と言っても運動不足。何とかしなくてはと毎日思っていますが、なかなか！です。歩くことから頑張ります。（E）

長　寿の秘訣に、医師が推奨する〝一十百千万〟の健康の薦めがある。一日一回、長文を読み、十回大笑いし、百回の深呼吸、日記など千字を書き、一万歩を目指すと良いそうだ。私は一十百止まり。反省。長寿を目指して頑張ります！（ゆ）

私　の趣味の一つは「歌舞伎」。歌舞伎観劇も好きですが、ボランティアで、地方歌舞伎の舞台裏、奈落や天井の操作のお手伝いも続けてきました。時代を超えて伝えられてきた文化には、人を元気にする力があると実感する芸術の秋です。（林）

我　が家にガリバーがやってきた。ドイツからの留学生フレディ君、182センチ。南稜高校1年生。ただ今、日本語特訓中。女の子の一人っ子の我が家では、全てが新鮮。何と言っても食べる量が、うれしくなるほどスゴイ！（雅）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

戸田市
発行・戸田市議会　編集・議会広報委員会
TEL 048-441-1800（代）FAX 048-433-2212
〒335-8588　戸田市上戸田１丁目18番１号
メール　gikaijimu@city.toda.saitama.jp
ホームページ　http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/
表紙写真撮影：浅生和英議員